



## 今月の記事

クリスマスメッセージ

先月からの愛の園

支える人々Part II

リレーエッセイ

12～1月の予定



チャプレン

北山和民 司祭

## 「クリスマスは終戦記念日」

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。」 (マタイによる福音書1章23節)

このたび神愛会・愛の園のチャプレンに任じられました。勤務する田辺市内の教会・幼稚園との兼務のため十分なことはできないかもしれませんが、心を新たに努めますのでよろしくお願いたします。

今も「竹槍や防空頭巾」を手放せず不安の中で疲れています。

「クリスマスおめでとう！」の豊かなメッセージを、ぜひこれから礼拝などに参加して、聞いて、周りの人にお知らせしていただきたく思います。



さて、クリスマス(救い主誕生物語)って何でしょう? 冒頭の聖句は「神様が私たちのためにこの世(あの世ではありません)に生きて、救い・和解のために動きはじめたぞ、もう怖がることはない。」という宣言です。つまりイエス様の誕生物語は、神から人類へのいわば「終戦・平和宣言」なのです。昭和20年8月の前後の違いを思い出せる方もおられるでしょう。しかし現代、この福音を知らない多くの人は、

### 《愛の園クリスマスのご案内》

- 12/24 19:00- クリスマスイブ  
キャンドルサービス
- 12/25 10:00- クリスマス聖餐式  
14:00- クリスマス聖劇・祝会



寒さが増して夜の灯りが冴えわたります。14日はふたご座流星群が出現します。今年は何のくらい見えるのか楽しみです。

## 先月からの愛の園 あんなこと、こんなこと



上富田町朝来の大谷こども獅子舞の皆さんがウッドデッキで迫力の獅子舞を披露してくださいました。この舞には無病息災の願いが込められています。 11/24



岩田幼稚園児が収穫感謝祭に捧げられた野菜や果物を届けてくれました。可愛らしい園児達の歌のプレゼントに同居者の皆さんは笑顔で聴き入っていました。 11/25



1階の3つのユニット合同で忘年会が開催され、たこ焼きやお好み焼きなどを一緒に作りました。 12/6



焼きたてのたこ焼きを美味しく召し上がっておりました。自然と笑顔が出てきます。 12/6



## 支える人々 Part II (5) ヨネクラ玩具 米倉千景 さん



愛の園では2ヶ月に一度、米倉さんによるお楽しみ会が行われています。カプラやバルーンアートで入居者の皆さんを楽しませていただきます。

「KAPLA(カプラ)」

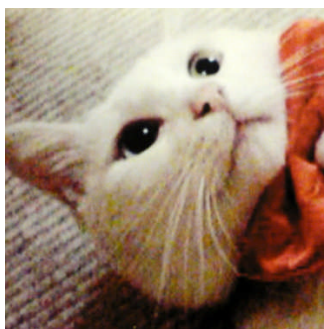
カプラには福音館が発行する、月刊「母の友」で記事を見たのがきっかけで巡りあいました。その時の一目惚れの気持ちは今も変わらず、保育園や幼稚園、小学校とワークに出かけています。もうかれこれ15年近くになります。初めて教えた園児がもう社会人になっています。

流行を追うだけではない、子どもにとって楽しくて、能力をひっぱりだしてくる、そんな魅力が詰まっているカプラの良さを伝えたい、そうした想いを持ってワークをしています。子ども達の持つ前向きさにはすごいパワーがあるといつも感じています。こちらもそれに対応できるように、体力と、そしてカプラの魅力を伝える努力をしなくてはと思っています。子ども達の成長をいつも気遣っている先生たちに手助

けいただきながら、園児と接することができることを感謝しています。何回かワークをする中で、子供たちの思いもかけない成長ぶりに驚かされることも多いです。できなかったことができるようになる自信、これが大きな力になると思っています。



夢中でカプラを組み立てる子ども達



「キリストの愛を以って  
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会  
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103  
和歌山県西牟婁郡上富田町  
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。  
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

## リレーエッセイ(29) 「私の元気の源」

介護職員

澤井慶子

愛の園の面接を受け、勤めてから1年4ヶ月が経ちました。最初は周りから「大変な仕事なので大丈夫？」と心配する声もありました。心配されると私自身も「出来るかな？」と不安な気持ちになりましたが、家族が応援してくれている限り頑張っていこうと思い、続けられています。

我が家では名前を「ゆき」という6才になるオスの白猫と一緒に暮らしています。この白猫「ゆき」が日々私を癒してくれます。仕事から帰ると必ず玄関で待っていており、声を掛けてくれます。どこへ行くにも私の後ろをついてくるのですが、最近はずり気味で歩くと垂れてきたお腹が左右に揺れるのを見てもおもしろく、またかわいく思い癒されています。

雨が降っても雪が積もっても、寒い日も外へのパトロールに出掛けるのが大好きで、自分で窓を開けて出て行き、戻ってくると「帰りました！」とばかりニャーオと鳴き、家に入ってもらいます。時折お土産を持ち帰っては家族を驚かせていましたが、昨年病気をしてから家の中でやんちゃをして過ごしています。そんな「ゆき」が一日の疲れや悩みをリセットしてくれて、また明日からの元気の源をくれる我が家の癒し系です。

一日の仕事ができることに感謝し、これからも仕事に励んで行こうと思います。そして介護福祉士の資格が取れるように頑張ります。

次回は2ユニットの藤原敏子さんにバトンタッチします。

## 12～1月の愛の園

- 14(日) 日曜礼拝(聖餐式)  
大江ピアノ教室演奏会
- 16(火) ひまわり会
- 17(水) 歯科診療
- 18(木) やまびこ会
- 19(金) 社協ボランティア来園  
岩田幼稚園クリスマス訪問
- 21(日) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
- 23(火) マリア会
- 24(水) クリスマスイブ礼拝
- 25(木) クリスマス礼拝・祝会
- 28(日) 日曜礼拝(聖餐式)  
餅つき

- 1(木) 新年祝賀朝礼
- 4(日) 日曜礼拝
- 8(木) やまびこ会

## 編集者から

月刊愛の園ニュースは今月で50号となりました。これまでの掲載記事は190件、お名前を添えた記事をいただいた方は延168人でした。写真は全部で392枚、入居者・利用者の皆さんの手芸作品や俳句などは16回ご紹介できました。入居者・利用者のご家族の皆さんにご覧いただくほか、希望される方にEメールでお届けし、ホームページにも掲載しています。2010年11月10日発行の第1号に「入居者・ご家族への情報発信」として、また「地域に向けてのコミュニケーションペーパー」として、と書かせていただきました。当初の思いの通り、愛の園に連なる皆さんとの交わりを深くする助けになればと願っています。忌憚のないご意見やご要望をお待ちしています。(A)